

2021年度 慶應義塾大学 一般選抜
文学部 外国語（ドイツ語） 解答例

I.

出題の意図は以下の通り：

現代社会にかかわる比較的長めの文章を読み、その大意を把握する力を問う。チェルノブイリ原発事故という、日本社会にとって今なおアクチュアルなテーマを扱った文章である。日頃から、ジャーナリスティックな文章に馴染んでいるとよい。難しい箇所もあるが、細部にこだわりすぎずに、文章の大まかな流れをつかみ取ることが大切である。

II.

出題の意図は以下の通り：

文の構成を正しく理解し、特定の時制表現や言い回し(a. 過去完了, b. als + 接続法, c. nicht ..., sondern ..., d. 関係副詞を用いた構文, e. 不定関係代名詞を用いた構文)を適切に訳すことができるかを問う。個々の文法項目の知識が身につけていることが前提だが、加えて、その知識を実践的な文脈のなかで確実に援用できるように、ドイツの文章を読むことに慣れていいる必要もある。

III.

出題の意図は以下の通り：

- ① ドイツ語と図表で与えられた情報を分析し、それをドイツ語で表現することができるかを問う。
- ② 比較表現や最上級表現をはじめとして、文法的に正しいドイツ語の文章が書けるかを問う。

この問題では、「ライフワークバランス」が主題となっている。日頃から、現代社会の問題について、ドイツ語で意見を述べられるように練習しておきたい。作文の際にディテールで多少のミスがあるのは構わない。主文における動詞の位置や助動詞構文での枠構造など、ドイツ語の基本的な語順を守ることが大切である。

以上